

感染症対策について

喜多方市立第二小学校

1 登校時の対応

- (1) 児童昇降口にアルコールを設置し、登校時に手指消毒をしてから校内へ入るようにする。
- (2) 朝、家庭での検温を忘れた児童は、昇降口の検温所（遠藤・山ノ内）、または、職員室で検温してから教室に入る。
- (3) 37.5℃以上の発熱があった場合は、教室に入らずに、会議室で待機する。担任より家庭に連絡し、保護者にお迎えをいただく。
- (4) 職員は家庭または、出勤時に検温、（事務室受付のところの体温計使用可）アルコールで消毒を行ってから、勤務を開始する。

2 授業・休み時間等の対応

- (1) 児童に体調不良が見られた場合、職員室前廊下で検温を行い、発熱があった場合には、保健室に入らず、会議室待機とする。保護者に連絡し、お迎えいただく。できる限り、担任が保健室に同行して、養護教諭と連携を図り、他の児童・教職員との接触を避ける。
- (2) マスクの着用を徹底し、手洗い・うがい、手指消毒をこまめに行うよう指導する。
※熱中症対策のため、周囲に人がいないときはマスクを必ず着用する必要はないことも指導する。

3 消毒業務について

- (1) SSSの消毒業務は、教室内の机・椅子、ドアノブなどを中心に児童の下校後に行う。
時間が限られているため、15時00～16時30までに全教室を消毒できる程度に行う。
- (2) 用務員の消毒業務は、13時～15時30分の2時間半で行い、教室以外の部分を毎日行う。

※ 朝の昇降口での手指消毒や教室に入る前の検温について、27日（木）朝より実施する。